

第1回定例会

第1回定例会

町長より行政報告がなされました。

・町長行政報告

・予算特別委員会質疑の中から①

予算特別委員会質疑については、主なものを要約し掲載しました。

町長行政報告 (要旨)

□東京サロマ会について

関東一円に居住する佐呂間町出身者で構成している東京サロマ会が、こととして創立25周年の節目を迎え、去る2月11日に東京において開催された創立25周年記念総会に出席してきました。

東京サロマ会は平成3年に創設されて以来、江東区民まつりでの佐呂間町物産展や、オホーツク・サロマの旬を食べる集い、さらに定期的に実施されているふるさと訪問など、ふるさと佐呂間町のPR活動や会員相互の交流を通じて、親睦と愛郷心の向上に向けた事業を行っています。総会には、会員のほか北海



東京サロマ会が参加した江東区民まつり

道ふるさと会連合会などからの来賓を含めた50名ほどが出席し、各地域の情報交換や佐呂間町特産品の抽せん会、ミニコンサートなどにより親睦を深めてきました。

また、会場ではサロマ会事務局長の西沢孝洋氏を中心として編集された東京サロマ会報創立25周年記念号が配布され、参加者全員が佐呂間町の近況や会員取材の記事などを興味深く読み、会場のあちこちでふるさとを話題とした楽しい時間を、笑い声とともに

に過ごしていました。

東京サロマ会は、会員の高齢化という課題も抱えておりますが、首都圏における佐呂間町の情報発信源として、これからも継続した活動をしていくことに、大いに期待しています。

佐呂間町としても、連携の強化と活動への支援を継続して実施していきたいと考えています。

□暴風雪の対応について

3月1日の早朝から夕方にかけての暴風雪が発生しました。

各地で吹雪や吹きだまりによる多重交通事故などが相次ぎ、本町では3月の観測史上最大となる瞬間風速24・3メートルを記録し、主要国道238号線、道道留辺蘆浜佐呂間線の永代橋から浜佐呂間までなどが通行止めとなりました。

対応として、ふれあいバ



町道の除排雪作業の様子

又の部分運休や各小中学校の臨時下校を実施し、また通行止めによる帰宅困難者に対する受け入れ態勢として、午前10時半に浜佐呂間活性化センターに避難所を開設し、14名を受け入れましたが、その後道路の通行止めが午後4時から順次解除されましたので、午後5時をもって避難所を閉鎖いたしました。

幸いにも車の立ち往生の事故もなく、また懸命な町道の除雪により町民生活にも大きな影響もなく、安堵したところです。

予算特別委員会質疑の中から

総務費

(質) LED照明器具の取り換えをここ数年進めているが、どのくらいの電気代の節減につながっているか。

(答) 当初予算に計上している光熱水費については、前年実績に基づいて推計し計上しています。

LEDは昨年の8月末に交換作業を実施しており、効果があらわれてくるのは10月以降の数字になります。昨年からの697本を交換しています。

ただし、その前に町は経費削減で、照明器具を約107本間引きして使用しており、間引きしていた分を含めて利用していれば実際の節減電力は大体わかるのですが、実際のところ大きな使用電力数の差はございません。

(質) 若佐支所、浜佐呂間出張所に要する経費の中の、役務費と委託料の内容は。



庁舎内で交換されたLED照明器具

(答) 消耗品費については、事務所で使う事務用品等、修繕料については、何か事務所等であった場合に対しての予算措置としています。

役務費の通信運搬費については電話料とし、公金取扱費についてはつり銭となっています。

委託料は、それぞれ支所、出張所の業務委託料として2人雇用していますので、ひと月16万円の2力所分として計上しています。

(質) 支所、出張所では月いくらぐらいの現金取引がある

のか。

(答) それぞれ納期ごとに納入期限が設定されています。人によっては国保でひと月10万円ということもありますし、複数回利用することがあればかなりの金額になります。

また、それぞれ葬儀利用もあります。住民票や戸籍などの証明書発行での利用もあります。

支所、出張所に納付してもらいました現金については、それぞれの職員が役場の総務課に金銭引き継ぎをし、受領後に出納室窓口に取り継ぎをします。

民生費

(質) 年金生活者等支援臨時福祉給付金に要する経費の対象者が980人となっている。町の福祉灯油やさまじな給付金を、対象者全員が申請できる工夫はないのか。

(答) これまでやってきた国の臨時福祉給付金は、非課税情報等を勝手に見て通知を出すことはできないというルールがあり、広報や折り込み、あるいは老人クラブに出向き「簡単な申請書と、印鑑と通帳を持ってくれば申請できます」とPRをしてきました。

今回の年金生活者等臨時福祉給付金は、昨年実施した臨時福祉給付金により、市町村の福祉担当が非課税情報を持っていきます。昨年の対象者に加え、65歳以上になった方は町で対象者情報を持っていますから、3月31日に個人通知をいたします。

今回のものについては個人通知ができるので、何とか100%近い方に申請してほしいと思います。

(質) 申し込みがない場合には、再度何かアクションを起こしていただければと思うが。

(答) 過去の給付金も2回、3回申請期限の通知を出しましたし、今回もその考えです。

第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から③

(質) もしルートインが手放すという結論を出した場合は、町が運営していくという考えもあるのか。

(答) あの施設は全部ルートインのものです。今はルートインに、何としても地域の方々は再開をお願いしているということに理解してもらいたい



休業中のルートイングランディアサロマ湖

1年間検討してみて、ことしの10月までには何らかの方向づけをしたいとのこと。

今のところ浄化槽の停止の問題があり、1年間浄化槽を停止すると、再稼働のときに相当の管理費がかかることと、ことしの4月から町単独で浄化槽を動かすよう、経費負担についてルートインに話しています。

(質) 登録型メール配信サービスの、現在の利用人数を教えてください。

(答) 本日までの利用登録者が374人で、徐々に増えてきています。口コミや周知広報活動で、徐々に浸透してきたと考えています。

消防費

(質) もし撤退となったら、更地で返ってくるのか、あのまま建物が残されるのか。

(答) 全くわかりません。更地になるか、佐呂間町に無償であげますというかについてわかりません。

たいと思います。

あの建物も30年以上経過していますので、北海道観光を売り出している今、抜本的な改修もやらなければ、観光客を迎えることが不可能ということも視野に入れて、今回の休業だと理解しています。町で運営を行う考えはありません。



今季の営業を終了した町営スキー場

(質) 就学援助の支給月を、新年度の用意をする3月にすることで、制服の購入に充てられると思うが、中学生だけでも早められないか。

(答) 定期便の走っていない時間帯、あるいは授業であるときと平日になるかと思いますが、あいている時間については要望があれば運行対応していきたいと考えています。

(質) 佐呂間高校のスキー授業の際に町のバスを利用したいという声も上がっているが、町のバスを部活バス以外でも出すというような計画は来年度あるのか。

教育費

3月支給を実施した自治体がある。佐呂間町も検討してはどうか。

(答) 4月に申請をもらって、委員会で決定し、5月から支給を開始しています。ですから、そんなに遅れているという形ではないと思います。

準要保護、要保護制度については、基本的には毎年申請が必要で、4月20日ぐらいをめどに申請をいただいておりますが、毎年所得状況が変わりますので、対象にならないうちもありません。3月に支給すると年度が変わりますので、今の進め方が適切と思われる。

準要保護、要保護の中の対象となる経費は決められていないので、例えば制服が必要だとしても、それが準要保護の対象経費になるかは別の問題と考えています。

最終的には町の決め方だと思いますが、3月支給の事例もあるということであれば検討させていただきます。

第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から②



クリニックさろま

(質) クリニックさろまの運営費負担金の中身は。

(答) 27年度の経営計画は、27年度の収支報告見込みをもとに医療法人恵尚会が計画をしたもので、27年度の決算からは改善されたと申し入れがありました。

外来診療1人当たりの単価を6200円、1日の患者数を70人と見込んで、外来の収入は1億900万円程度の計上をしています。

入院診療費は、1日当たりの入院患者数を27年度計画から0.5人ほど減少して18.5人としてありますが、これは7990万円の見込みということであって、実際には27年度の計画と同じ額を計上したということになります。

自由診療は健診などですが、27年度見込みを参考として3600万円という収入見込みで、昨年度と同額の計画になりました。

医療収入は、27年度の見込みより4400万円ほど増収を見込んで2億2530万円程度になっております。

変動費は薬剤仕入れや、血液検査の委託などの受託費などで、この割合を先ほどの収入2億2530万円のうちの18.6%と見込んで4200万円としています。

固定費の人員費と経費は、人員費が2億400万円ということ、これには常勤2人分の医師報酬と、看護師給与賞与が入っています。

そのほかの経費としては、厳寒期の燃料費も、27年度と同程度を見込んでいます。

支払手数料は、前年の1000万円に対し、2人目の常勤医師を確保するため、今年度は1800万円と、800万円増額しています。

経費の合計は8300万円程度となり、先ほどの人員費と合わせて固定費は2億8700万円ということ、医療収入の2億2530万円から

変動費と固定費などを差し引いた損失見込み額は1億282万5000円となりました。

昨年度の負担金は1億2000万円でしたが、28年度に関しては1億282万5000円の損失見込みに対して1億円という予算を計上したという中身になっていきます。

衛生費

(質) 野犬掃討業務委託料に90万円の予算が出ているが、野犬とはどこか山の中にいる野良犬を指すのか。捕獲頭数は年間どのくらいか。

(答) 畜犬に要する経費の委託料は野犬掃討業務1名の方に業務委託し、週10時間以上の町内の巡回と、野犬がいた場合の掃討等をあわせてお願いをしています。捕獲頭数は、27年は現在までで9頭、26年は6頭です。

警察を通じたり、あるいは直接役場のほうに連絡をいただいて、野犬、放し飼いの犬がいるということを出かけて、町の登録台帳で確認して

商工費

(質) 二つしの春からルートインが休業するが大きな影響があるのではないか。またホテルを運営していくための町としての手だてはないのか。

(答) 宿泊の中心施設であるルートインが長期休業になると、町の観光にも影響がありますので、早く結論を出してほしいと話しております。

野犬とわかることもあり、仁倉や若佐のほうでも野犬がいます。

(質) 環境整備業務委託料について、最近悪臭は気にならなくなったが、水質洗浄や水質検査の効果が出てきたのか。

(答) 環境整備業務委託料については、小公園から特養の裏までの堤防の下にある側溝の流れが悪く、毎年清掃を行っています。

町内の悪臭については、去年も発生原因と思われる方と話をし、いろいろ相談をさせていただきながら進めています。

第1回定例会

3名の議員が町政全般にわたり理事者の考えを質しました。

・一般質問①

一般質問

【答弁】(教育長) 教育行政推進方針にも掲げているところではありますが、近年学校には保護者や地域の皆さんのさまざまな意見を反映させ、地域に関われ、信頼される学校づくりが求められています。

【質問】(議員) 現在の社会を取り巻く状況は、人口減少の進行、地域社会のつながりの希薄化、児童虐待、防災教育への取り組みなどいろいろな課題が山積しております。このような社会の変化に沿って、これまでにない新しい形での教育改革の波が来ていると考えます。コミュニティスクールについての考えと取り組みについて伺います。



本見研介 議員

「コミュニティスクール」についての考えと取り組みについて

社会変化に合った「コミュニティスクール」への取り組みは！

教育長へ管内市町村の導入状況を見定めながら、検討しなければならぬ。

本町におきましても学校評議員制度の導入、保護者や児童生徒のアンケート調査などを反映した学校評価などを行い、その結果を学校便り等で校下に配布するなど開かれた学校づくりの取り組みをしているところでございます。このコミュニティスクールは、北海道においてまだ定着しておらず、教育委員会としても検討していないのが実情であります。今後オホーツク管内市町村の導入状況も見定めながら、この制度が本町の学校にとって必要なかどうかも含めて検討はしなければならぬと思っております。

第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から④



学校給食センターでの調理の様子

(質) 町民センターの防犯ビデオ126万3000円と武道館温水プールの防犯カメラ77万3000円の差は。(答) 町民センターのビデオはモニターが4分割となり、他に直接工事費などの経費をつけて算出しています。(質) 学校給食の地場産品の利用については、こしも計画があるのか。(答) 町内のものは野菜を利用しています。また、地元のサロマ牛を利用したり、佐呂間で漁獲されたサケを使っています。生産者の声を子供たちに届けるような形で食育も進めております。

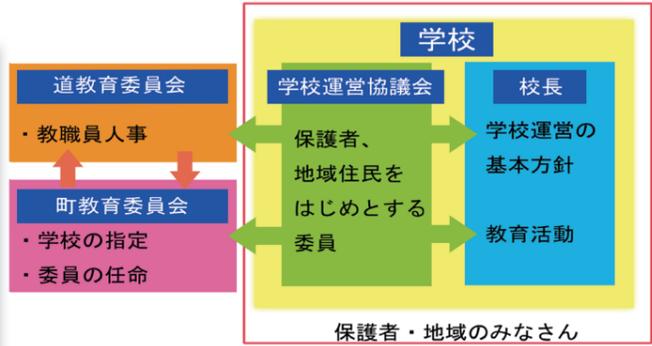
歳入

(質) 地場産品の割合は半数は超えているのか。(答) 食料費2000万円の中心は米や牛乳で、全体の7割くらいは道産産品です。地場産品という点、野菜、豚肉、牛肉ですが、野菜は時季のものしか使えませんので、金額にすると150万円から200万円の間です。今後地場産品をできるだけ使うような方向でいきたいと思っています。

国民健康保険

(質) 現在の国保の加入率は何か。(答) 加入率という考え方はありませんが、加入者数につきましては、戸数が873戸、人数が1897人ということで予算計上しております。(質) 医療費削減のために、特定健診、健康指導、診療報酬の適正化など、各町村いろいろ努力しているが、町は何か対策は練っているのか。

(答) 国保の加入者に希望力ードの配付を行ってシエネリック医薬品の利用促進に努めているところであります。特定健診の実施において、40歳から60歳までの5歳刻みの節目助成と、61歳から65歳までと70歳については無償クーポン券の配付をしています。なおかつ、特定健診に基づき特定保健指導の取り組みも行っていきます。適正化については、しせつト点検員を嘱託職員として雇用をしております。なおかつ、保険適用範囲などの町広報資料による啓発も実施しておりますし、医療費の通知も年間4回ほど実施をしております。(質) 保険給付費は前年度よりも増えているのに対し、特定健診は前年とほぼ同じ予算となっている。健全な国保運営に向かっているのか。(答) 国保税と、国、道からの交付金などの中で実施をしなければいけませんから、今後も適正化に向けて努めていきたいと考えています。



コミュニティスクールの概要

【コミュニティスクール】保護者や地域住民で構成される学校運営協議会を設け、学校の運営方針や教育活動について意見を述べる取り組み。

【質問】(議員) 自治会の運営費の補助金は、平成27年度で359万円の予算で、今年もほぼ変わらない額だと思います。しばらくこの金額は変わりませんが、適切と考えていますか。(答) (町長) 今回の算定につきましては、平成19年から、現時点におきまして変更を行う考えは持っていないことをご理解願いたいと思っております。